

POWER SOLUTION GROUP

電力ソリューショングループ

OUR VISION

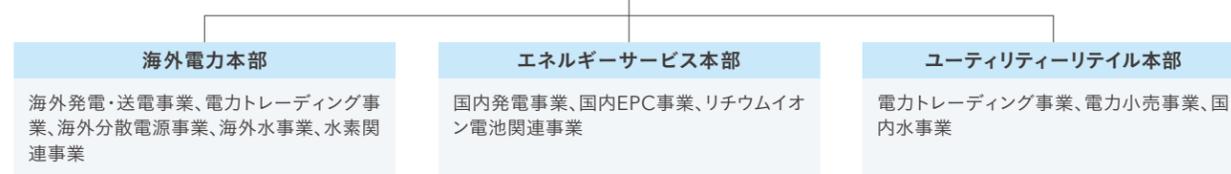
電力ソリューショングループの扱う「電気・水」は重要な生活インフラの基盤です。再生可能エネルギー等の環境負荷の低い電源を中心にデジタル技術を活用し、需給調整機能などを組み合わせ、電力の安定供給に貢献するだけでなく、顧客に対する新たな付加価値の提供、さらには次世代燃料として期待される水素事業への取り組みを通じて、持続可能な低・脱炭素社会構築への貢献と企業価値向上の実現を目指します。

常務執行役員
電力ソリューション
グループCEO

中西 裕也



電力ソリューショングループの組織



外部環境変化を踏まえたリスクと機会

リスク	機会
<ul style="list-style-type: none"> 低・脱炭素化を背景とした発電事業に対するコスト構造や発電システムの大幅な変化、および規制・政策、融資方針等の変化による、温室効果ガス排出削減取り組みの加速や化石燃料による火力発電の採算性の低下 電力事業全般に対する、各国における規制・政策等の変化 	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーや分散型電源における事業機会の増加 再生可能エネルギーの増加、電源の分散化等の電力事業の構造変化に伴う新事業機会の増加 蓄電池や蓄電池を活用したサービス、VPP*事業等の普及 水素等の次世代エネルギー利用の拡大 各国における規制・政策等の変化により、電力ビジネスの新規領域への参入等の機会増加 <p>*Virtual Power Plant(需要家側設備、電力系統に直接接続されている発電設備、蓄電設備等のエネルギーリソースを制御することで、発電所と同等の機能を提供すること)</p>

電力ソリューショングループの強み

- 再生可能エネルギー発電事業、特に洋上風力発電・海底送電事業における豊富な開発・建設・運営実績
- 発電から小売までバランスの取れたポートフォリオを有し顧客重視のグリーン電力・サービスを提供する総合エネルギー事業会社Eneco社の知見
- 急速に変化する電力事業環境を捉えたDX取り組みを推進するための、サービス開発やパートナーングにおける知見・ネットワーク等の総合力

中期経営戦略2021における戦略

各家庭・顧客が日常的に利用する「電気」を通じ、単なる電力販売にとどまらない、顧客目線に立った新たなサービスの提供を目指します。さらに、従来の発電・送電事業(供給側)に加え、川下の蓄電・分散電源・電力トレーディング等の電力サービス(需要側)に取り組み、川上から川下の全体で事業価値の極大化を図ります。

2021年3月期の進捗

川上(供給側)から川下(需要側)までの電力バリューチェーン全体において、以下の取り組みを推進。

- 供給側: 国内および海外において再生可能エネルギーを中心とした発電事業や洋上風力を支える海底送電線事業等の安定的な事業拡大
- 需要側: 電力小売事業・新サービス事業の展開、およびデジタルマーケティングを通じたリテール・ライフケア・金融等のサービスを提供する中部電力ミライズコネク(株)の設立
- 川上から川下までの一貫した事業ポートフォリオを有するEneco社を通じた再生可能エネルギー開発の取り組み強化

主要連結対象会社からの当社持分損益

	持分比率(%)	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3
1 ENECO GROEP N.V.(オランダ)*1	80.00	—	—	—	—	132
2 DIAMOND GENERATING ASIA, LIMITED(香港)*2,3	100.00	65	108	65	118	73
3 DIAMOND GENERATING CORPORATION(米国)	100.00	74	223	11	121	31
4 DIAMOND GENERATING EUROPE LIMITED(英国)	100.00	27	34	217	68	62
5 DIAMOND TRANSMISSION CORPORATION(英国)	100.00	60	41	29	83	78
6 三菱商事パワー株式会社*4	100.00	38	72	53	42	138

(単位: 億円)

*1 2021年6月29日付でN.V. Eneco BeheerがEneco Groep N.V.を吸収合併の上、N.V. Enecoに商号変更。当社は、中部電力(株)と共同で設立したDIAMOND CHUBU EUROPE B.V.を通じてEneco社へ出資している。取得時に公正価値評価された資産の償却等で2021年3月期は連結調整等▲70億円が計上されている。なお、オランダ税制改正による税効果洗い替えの影響が計▲49億円あり、これを除いた場合には当社の持分損益は111億円となる。

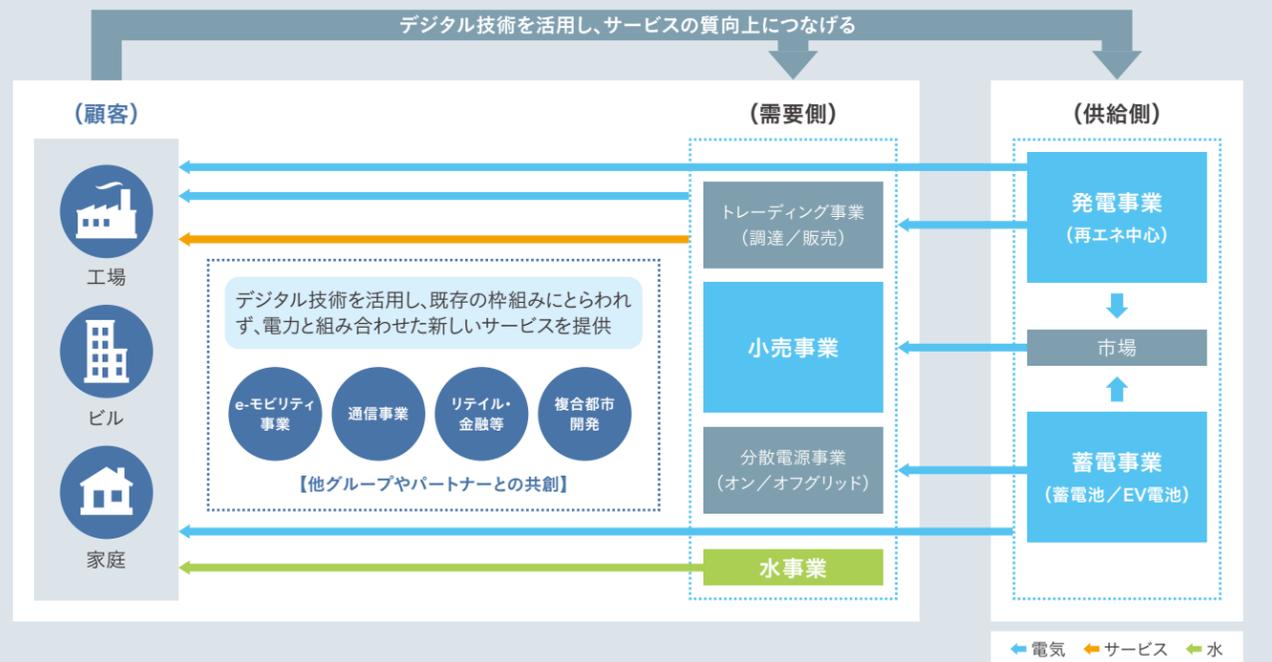
*2 DIAMOND GENERATING ASIA, LIMITEDが管理している会社を含めた9社の損益を合算して開示している。

*3 2020年3月期開示より、三菱商事単体で計上した一部の税金負担を含む。それに伴い前年同期も修正している。

*4 2021年4月1日に三菱商事エナジーソリューションズ株式会社に商号変更。

電力ソリューショングループのビジネスモデル

従来の当社電力事業は供給側の発送電事業が中心でしたが、電力トレーディング事業・顧客基盤を持つ小売事業等、需要側への事業展開により、供給側を含めたバリューチェーン全体の事業価値向上に取り組んでまいります。



持分発電容量の推移 (2021年3月末時点)

